

令和8年4月17日

太子町議会議長 首 藤 佳 隆 様

総務経済建設常任委員会
委員長 中 島 貞 次

所管事務調査報告書

本委員会の調査事件について、下記のとおり報告します。

記

1 調査事件名

- (1) 所管事務調査（当局出席）
 - ・観光資源として今後活用を検討している施策（JR網干総合車両所など）
- (2) 課題調査
 - ・観光行政のあり方
- (3) その他

2 調査年月日 令和8年4月13日（月） 午後1時30分 ～ 午後4時47分

3 調査等の経過及び意見

(1) 所管事務調査

産業経済課よりJR網干総合車両所等の鉄道資産を観光資源として有効活用すること等についての説明を受けた。太子あすかふるさとまつりの日に合わせて、JR網干総合車両所見学ツアーの実施を通して鉄道ファンの呼び込みを行っていくことは、JR網干総合車両所担当者と本年も協議を行い、引き続き実施することになっている。鉄道関連の歴史的資源である北沢産業軌道敷は、太子町部分のみが残っているが利活用の方法は模索中である。また、播州電気鉄道は昭和9年に廃線となったため、現在はほとんど痕跡が残っていないのが現状である。その他に、太子山公園のD51の展示等が太子町の鉄道関連の遺産である。鉄道関連ではないが、産業ツーリズムとして令和7年度にはりまオープンファクトリー「市番」を実施した。太子町のものづくり企業の見学等を実施し、地元企業への理解を深めている。次回開催時に参加の意向を示している企業もあるので、今後も実施していきたいと説明があった。

委員からの質疑で、太子町観光行政に関する予算状況やJR関連の物品販売等のイベント開催、ふるさと納税との関連、太子町観光ツアーの取組状況、兵庫県立大学との提携、商工観光係への予算配分等について質疑を行った。

(2) 課題調査

太子町観光協会の組織体制における今後のあり方について、太子町商工会から町組織に取り込み、将来的に一般社団法人化するのか、指定管理者のもとで観光協会を独

立させるのか等の協議を行った。観光協会をどうするのかの提言を、6月ないしは9月定例会において会議規則第47条報告として当局に提案することとした。

(3) その他

次回の委員会は5月14日(木)午前10時より開催し、課題調査等を行う予定。当局への課題調査・所管事務調査についての質問事項は、4月20日(月)正午までに事務局に提出することに決定した。